

みんなの ひろば

日本ブルームボール協会会長
久保 元 さん
雄武ブルームボール協会会長
中橋 秀紀 さん

「夢はオリンピック」



↑雄武協会の皆さん(1月14、15日に開催されたオホーツクブルームボール選手権にて。最前列右から3番目が久保さん、2列目左から5番目が中橋さん)

クローズ
アップ
まちのひと

昨年の3月、町が奨励するスポーツに指定された「ブルームボール」。カナダが発祥の地であるブルームボールは、アイスホッケーがルーツ。専用のスニーカーを履き、ブルームと呼ばれるスティックを使って、ゴムボールを奪い合いながら相手ゴールにたたき込む。まさに単純明快な氷上のスポーツである。

雄武町では1994年にブルームボール協会が設立され、中橋秀紀さん(41歳)が2010年から3代目の会長を務めている。中橋さんはブルームボールの魅力に「型にはまっていないスポーツなので、選手の発想次第ではとんでもないプレーができる」と、戦術の妙ですね。チームとしてのバランスやままりがないと、どんなに良い選手ばかりでも勝てないんです」と教えてくれた。

雄武協会は全国大会であるジャパンカップに第6回から参加、連続16回の出場を果た

す。メンズの部で全国優勝が8回・準優勝が5回。ミックスの部では、全国優勝が5回、準優勝が4回と輝かしい成績を収めている。2年に1度開催される世界大会にも過去5回、日本代表として出場。雄武協会はまさに実力、規模ともに日本一の協会である。「町が奨励するスポーツにブルームボールを指定いただけて感謝しています。発足当初から雄武協会の会員数は日本国内の協会では最多数で活動しており、各種大会で好成績を残せたことも評価いただけたのかなと思っています」。

雄武協会の初代会長であり、1999年から現在まで日本ブルームボール協会の2代目会長を務める久保元さん(60歳)。久保さんの強い働きかけにより、2014年ブルームボール世界大会がアジアで初めて日本の苫小牧市で開催されることが決定した。「今まで世界大会が9回開催されているけど、第10回大会が今年の10月にカナダの首都オタワであるんだよね。過去の大会を振り返ると、カナダが多くて、次にアメリカ、ヨーロッパ。ブルームボールというスポーツの知名度を上げるためになんとしても世界大会をアジアという日本に引っ張ってきたいという思いがあった。今回、それを実現することができたのは本当にうれしかった。ただ、本音を言えば、オホーツク管内でやりたかったね」とその時の心境を振り返る。

「町が奨励するスポーツになったことで雄武協会の発展につながってくればという思いですよね。小学校や中学校の体育授業にぜひ取り入れてもらいたいと思っています。だよ。ブルームボールをやることによって、子どもたちが体力増強になって元気になります。その子たちが成長し、基

本的な体力を持って仕事を一生懸命することで活力ある雄武町につながる。そういう意味も含めて教育などにブルームボールを取り入れてほしい。スキーやスケートはすぐにはできないけど、ブルームボールは誰でも手軽にできるスポーツ。町を挙げてブルームボールの技術を向上させ底辺を広げていくことが必要かと。その子たちが高校生や大人になった時に協会に入ってくれることで、レベルも上がり、それがまた雄武協会が日本一を維持できる力になると思う。私は雄武町に育てられた人間なので、やっぱり雄武協会が活躍してくれることがうれしい。日本協会の会長として、ひいきはできないけど、心の中では雄武町の選手がどんどん伸びてくれて、雄武町のチームが勝ってくれることは本当にうれしいですし、それを期待しています」。

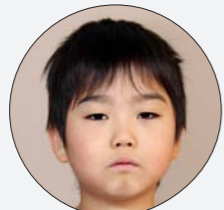
久保さんは最後に「夢はオリンピック。ブルームボールがオリンピックの種目になれる可能性は十分にあると思う。雄武町から世界代表選手、行く末は冬季オリンピック選手がひとりでも多く育ってくることを協会の会長としても、雄武町民としても望んでいます」と話してくれた。

小さな美術館

幌内小学校



↑「ちぎり絵」



村田 陸くん (2年)



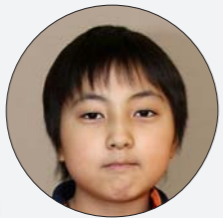
↑「チャーム」



古山 凜さん (1年)



↑「空をとんでる龍」



菊地 孝太くん (3年)



→「きんちゃく」



高野 愛梨さん (2年)

わんぱくキッズ

なかよしおやこきょうしつ
～ 子育て支援センター ～



こだいら
まりなちゃん



はせべ
せなくん



さいとう
ゆらちゃん